

ちば市の PTA

PTAって何？ PTAはなぜ必要なの？

Parent = 保護者・親

Teacher = 先生

Association = つながり 団体

P → ぱっと

T → たのしく

A → あつまろう

学校って先生と生徒だけで成り立っている？それは違います。
保護者の協力、家庭のサポートや協力が必要です。どこの家でもわが子を第一に考えるし、わが子は親が守るのがあたり前かもしれません。

ですが・・・わが子のことだけを考えていけばいいのでしょうか？
どの子も笑顔で元気に通う楽しい学校にするには、チームとしてサポートしたほうが絶対にうまくいくのでは？

たとえば、見守りパトロールもその一つ。何か問題が起こっても、保護者たちが学校の先生と話し合ったり相談したりして知恵を出し合い、なんとかいい方法を考える。それが、PTAや保護者会が必要になった理由ではないでしょうか。

「子は親（大人）の背中を見て育つ」

そうです！バザーなどの行事自体がPTAの目的ではありません。
行事という手段を通じて、みんなが笑顔いっぱいの学校作りという目的のために、保護者と教職員、保護者同士、みんながつながっていくから子どもが育つのです。だからPTAや保護者会が必要なのです。

「だれかがやるだろう」ではなく、できることをできるときにできる人が交替でやれるといいですね。無理ない範囲で楽しんで。

Pぱっと **T**たのしく **A**あつまろう ですね。

みなさん！PTAや保護者会の仕事にプライド（誇り）をもって、子どもたちのために、仲間の輪を広げていきましょう！



～ 会員の皆さんの疑問にお答えします！コーナー～



区P・市Pって私たちから遠い存在・・・
よくわからないけど聞けないし・・・



区Pって何しているの？

6つの区Pは加盟校の数も違い、それぞれ特色があります。どの区Pも単Pが協力し合って連携を深めています。単Pの活動がよりよいものになるよう情報交換したり、バレーボール大会で親睦を深めたりしています。

また、講師を招き研修会を実施している区もあります。市Pからは、講師招聘の補助として1万円を、バレーボール実施区Pに児童生徒数に応じて2～6万円を補助しています。安全互助会からも各区に2～11万円を助成し、活性化を応援しています。

市Pの役員って、あっちこっち出なきゃいけないの？

会長と副会長を中心に教育関係団体の会議に委員として参加します。初めはどきどき、緊張しますが、「個人」ではなく「立場」で参加しているので大丈夫です。普通では参加できない会議に出てどんどん経験を重ねていくうちに、視野が広がり、自分も成長していったという声も聞かれました。「出なくちゃいけない」から「こんなことも体験できた」への気持ちの転換も楽しみです。もちろん無理なく役割を分担していくのでご心配なく。

単P・区P・市Pって何のこと？

単Pは単位PTA、各学校のPTAの略。
区Pは区ごとのPTA 連合協議会の略。
市Pは千葉市PTA 連絡協議会の略。
日Pは(公社)日本PTA 全国協議会の略。

じゃあ、市Pの役員会って？

役員は会長と各区から選出された副会長6名（任期は区により1or2年）、同じく書記2名、会計1名、監事1名。これに校長会から副会長2名、監事1名が加わります。「役員会」には役員の他に常置委員長3名と事務局2名が参加します。年12回開催。H30年度は特別委員会として千葉市大会実行委員長が参加しています。市Pは区Pの活動をさらに発展させているので、各区の代表が役員となって運営しているのです。

市Pの理事会って何？

各区から、区P会長を含む3名の代表が理事として集まり、市P連役員と常置委員長が参加して話し合ったり情報交換をしたりします。その内容を理事は区に持ち帰りフィードバックしていきます。昨年度は共通の課題や研修会について意見交換が盛り上がり、貴重な情報交換の場となりました。合同研修会の話が出るなど、自然と区と区の協力体制も生まれました。

市Pの役員の一員として
できることから始めてみよう！

市P連のスローガンは「育もう 子どもの心に 夢と希望と優しさを」
会長いわく「子どもの笑顔が見られるように」私たちは活動していきます！

PTA

PTAは子どもの幸せを願い健全な育成を図るために組織され、保護者と教職員が協力し合い、共に学び、共に活動する「社会教育関係団体」です。戦後、全国各地で結成され、わが国で最も普及した社会教育関係団体であり、発言力も大きいのです。

市P連の取り組み

～ほんの一部の紹介です～

○千葉市教育委員会としっかり連携しています！

月1回の役員会には、教育委員会と校長会の代表が毎回出席しています。
給食費の公金化、一括徴収システムなど、いち早く情報をいただいています。

○教育関係の重要会議に参加・参画しています！

「学校教育審議会」など教育環境整備や子どもたちに関する重要な会議に市P連の役員が「委員」として参加し意見や要望を伝えています。役員がPTAの代表として出席する教育関係団体の会議は約20。とても大きな発言力を持っています。

○教育条件改善要望をしています！*トイレの補修 *エアコン整備等

子どもたちの未来のために教育予算充実の要望について他団体と協力して集めた署名を、会長から直接熊谷市長へ提出しました。



○千葉市のPTAの結束力！

昨年度実施した「関東ブロック研究大会千葉市大会」のシンボルマーク募集には、なんと加盟校の児童生徒から881点もの応募がありました。これこそ、市P連の呼びかけに区P・単Pの役員の方々が積極的に協力してくださった成果と思います。

なぜ市P連に加入しているといいの？(一例です)

- 単Pだけではよくわからないことや困っていることも、役員研修会や新年情報交換会で他校と情報交換でき、さらに直接事務局への問合せでも相談ができる。学校によるいろいろなやり方の違いを知った上で、解決方法などを広い視野で考えて判断できる。(相互扶助)
- 単P単独では呼べない講師による講演会・研究大会や講習会に参加でき、学びの機会が多い。
- 何かがあったとき(東北・熊本大震災)、相互扶助により日本中のPTAからスピーディで長い支援が集まる。行政ではなかなか届かない部分のPTAの支援に感謝する生の声あり！
- 一人一人の力は小さくても「つながる」ことで大きな発言力を持ち、声が届くのです。